

生活科の実践

札幌市

夏と比べて宝物集めの意欲を高める

生活科

あきをたのしく

1年

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

第1章

単元の概要 と 単元構成

木の実や枯れ葉などが豊富に存在する公園の自然にたっぷりひたすることで、五感を通して「秋」を味わいます。自然物を利用した遊び道具を作ったり、友達とルールを作って遊んだりする活動を通して、共に遊ぶことの楽しさに気付けるようにしました。

学習活動の流れ (28 時間)

7月の活動の写真を提示し、問題意識を高めます。

さわる、においをかぐといった様々なかわり方に気付かせます。

目的をはっきりさせて、2回目の活動をさせます。

交流活動で、他者意識を持たせます。

夏と比べて、秋のかわってきたものは？(1)

- ・衣食住・気温の変化・周りの様子

秋になった中島公園、かわってきたかな？(5)

- ・人の様子・公園の様子・自然の様子・どのように
- ・たくさんの枯れ葉があったよ
- ・木の実があったよ
- ・もっとたくさんあつめたいな

遊び道具の材料をあつめてこよう(5)

- ・木の葉 ・木の枝 ・枯れ葉
- ・遊び道具を作ろう
- ・オリジナルな遊び道具にしよう
- ・つくってみよう

もっといろいろな材料をあつめてこよう(10)

- ・材料が足りないな
- ・もっと工夫しよう
- ・遊び道具を完成させよう

1年生全員でげんきずあきまつりをしよう(7)

- ・遊び方を説明しないと
- ・プレゼントもつくろう
- ・楽しく遊んで大成功だったよ。
- ・楽しかった思い出を絵日記にまとめよう

札幌の中心部に位置する中島公園。大きな池にはボートが浮かび、たくさんの樹木がある札幌の憩いの場です。

校区を生かして、何度も足を運び、たっぷりと自然にひたさせます。



秋の中島公園

教材・活動の Point!

1. 教材化の工夫で、秋ならではの楽しさを発見！

木々の紅葉、色鮮やかな枯れ葉、どんぐり等の木の実。秋の中島公園は自然からの贈り物が豊富に存在します。自然にたっぷりと浸る中で、秋の訪れを体感し、秋を味わいました。諸感覚を発揮し、体全体で学ぶことを通して、秋ならではの楽しさを見いだしていくことができます。

2. 学習構成の工夫で、子どもの意欲を持続させる

年間を通じてかかわる公園。夏との比較で秋の特徴を見いだしていきます。その後、木の実や落ち葉を「秋の宝物」から「遊ぶ材料」というように集める視点を量から質へ変換することで、意欲を持続させていくことができました。学年での秋祭りで、ともに遊びを楽しむこともできました。



3. 環境構成の工夫で、自然と子どもを近づける

「秋の宝物コーナー」で、見つけてきたものを展示して、学びの足跡が残るような環境構成を工夫しました。また、学びを広げていくような具体物も提示していきます。これまでの意識にない、新たな視点と出合わせること、自然とのつながりをより深めることができました。

